



このコーナーでは、市内各地で行われるイベントや市民の活動をご紹介します。皆さんの身近で行われる楽しい催しなどありましたら、市役所総務課広報聴係(☎43-7025)までお知らせください。

大館アメッコ市(2月14、15日)

トリブンの2日間 (1月24、25日)

比内地域の冬の風物詩「比内とりの市」が、比内グラウンドで行われました。

2日間とも好天に恵まれた今年は昨年よりも千人多い3万6千人が来場。恒例の「比内地鶏かやき鍋」や「比内地鶏千羽焼き」は、完売するほどの売れ行きでした。

キャッチボールの要領で卵を投げ、うまく捕れた時の距離を競う「比内地鶏卵キャッチ」や、「ワトリの鳴きまねをし、その鳴き声の長さを競う」「人間比内鶏詠唱大会」などが行われ、訪れた来場者はトリづくしの冬祭りを楽しみました。



豊作を願って (2月10日)

比内地域中野地区に伝わる小正月行事「雪中田植え」が、高齢者生産活動施設で行われました。

この雪中田植えは、雪の田んぼに稲わらと豆殻を植え、一週間後の状態を見て作の良さ悪しを占うというもの。

菅笠とみのを着用した高橋久宜さんと畠山市右衛門さんが、しめ縄を張った約2坪四方の雪の田んぼに、今年の豊作を願いながら稲わらや豆殻を丁寧に植えていました。



市民スキー大会 (2月1日)

「第59回大館市民スキー大会」が開催され、参加した選手たちは、雨の降る悪条件の中で熱戦を繰り広げました。今年の大回転・スノーボード競技は、大滝温泉スキー場のゲレンデに亀裂が見つかつたため、急ぎよ達子森スキー場に会場を変更して行われました。選手達は好タイムを狙い、日頃の練習の成果を発揮していました。

また、樹海ドーム語らいの森で行われた距離競技では、チームメイトや家族らの大きな声援を受け、懸命に走る選手の姿が見られました。

